

薬連ハイライト

令和4年度年頭所感

参議院自由民主党政策審議会長
参議院議員 薬剤師

藤井 基之

新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新たな年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は菅総理・総裁が退任し、岸田新内閣が発足しました。新内閣の発足直後に行われた衆議院総選挙は厳しい戦いとなりましたが、結果的には自民党単独で絶対安定多数を確保し、引き続き安定した政権運営を担えることとなりました。ご支援頂いた皆様方に改めて御礼申し上げます。

総選挙後の自民党役員人事において、党の参議院政策審議会長を命じられました。新型コロナウイルス感染症等の直面する課題に対応するとともに、活力ある新しい時代を築くために全力で取り組んで参ります。

さて、昨年は後発医薬品メーカーの業務停止、製品の自主回収や出荷調整等により、後発医薬品の供給が不足し、国民の信頼を大きく損なうところとなりました。国民が安心して医療を受けられるよう、関係者が一丸となって信頼回復に努めていくことが

重要となっています。

また、昨年8月に認定薬局制度が施行され、薬局の機能に応じて「地域連携薬局」又は「専門医療機関連携薬局」と標榜することが可能となりました。患者さんの薬局選択の大切な手がかりを提供すると同時に、「患者のための薬局ビジョン」に示された、薬局のかかりつけ機能や高度管理機能をより具現化するものとなり、薬剤師・薬局への一層の信頼向上につながるものと期待しています。

今年には2年に1回の診療報酬改定、薬価改定の年にあたります。薬価については、骨太の方針2021に示された考え方を十分に踏まえ、革新的な医薬品のイノベーションの評価及び長期収載医薬品等の適正評価を行い、透明性・予見性の確保された見直しがなされるよう、努めて参りたいと思います。

貴会会員の皆様方の益々のご活躍にご期待申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

新年ご挨拶



衆議院議員

逢坂 誠二

明けましておめでとうございます。

山本信夫会長をはじめ、日本薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より、逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

令和3年10月31日に実施されました第49回衆議院選挙において、日本薬剤師会会員の皆様からの応援を受け、5回目の当選を果たすことができました。改めてその責任の重さを痛感しております。これからもお役に立てるよう、全力で尽くして参ります。

さて、コロナ対策は待ったなしです。第6波に備えて医療体制を強化すること、第3回目の新型コロナウイルスワクチンの薬剤師への優先接種をはじめ、政府に対して薬剤師、薬局への支援を積極的に

求めること、また、2022年には薬価改定が予定されております。薬剤師国会議員として、薬剤師を取り巻く様々な環境整備に引き続き努力を重ねて参ります。

加えて、医療や福祉の充実、私たちが生きるために必要な仕事をされる皆さんの処遇改善など、コロナ禍で明らかになった日本の課題の克服に取り組みます。

私の政治の信条は「地域があって、国がある」です。そのために、これからも日本薬剤師会及び薬局関係者の皆様、行政機関や医療関係団体の皆様を訪問させていただき、更にお役に立てるよう、ブレずに曲げずに進んで参ります。

この1年が皆様にとりまして、良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

「年頭所感」



自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師

本田 顕子

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかに新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍の中で、医療提供体制の逼迫、自宅療養患者数の増加等、悲しいニュースがありました。国民皆保険を誇る日本で、医療にかかりたくてもかかれない事態になってしまったことは、政治の責任と受け止めております。如何にして医療を提供し継続していくか、薬剤師議員として、私もその対策に強く関わり続けています。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種においては、薬剤師の先生方によるワクチン希釈、充填や予診票の確認等に加え、医療従事者のチーム力により日本のワクチン接種率は国際的に見ても高い水準となりました。昨年9月末で緊急事態宣言等が解除され、通常的生活が少しずつ再開しておりますが、海外の状況を見ても、第6波への警戒は必須です。

優先接種の対象となりました医療従事者への第3回目の接種が12月から始まりました。昨年11月12日には新型コロナウイルス感染症対策本部において「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」と題する具体的な措置を決定し、ワクチン、検査、治療薬等の普及による予防、発見から早期治療までの流れを更に強化するとしました。

薬局、医療機関の薬剤師の連携により、地域包括ケアシステムの中で良質な医療の提供が更に進むことを願っております。医療人材の持てる力を発揮し、医療崩壊を起こさない医療提供体制となることを強く願います。そのための環境整備に理解が深まるように私も更に努力を続ける一年にしていきたいと思います。

年が明け通常国会も開会します。まずは、令和4年度予算案の審議、議決となります。予算成立を目指し頑張っております。本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 薬剤師首長・地方議員意見交換会 開催

令和3年11月4日（木）、都内ホテルにて標記会議が開催された。ご参加いただいた薬剤師首長・地方議員は下記の通り。

県名	役職	議員名
北海道	江別市長	三好 昇
北海道	赤平市議会議員	北市 勲
北海道	滝川市議会議員	荒木 文一
北海道	上富良野町議会議員	元井 晴奈
栃木県	栃木県議会議員	山口 恒夫
群馬県	伊勢崎市議会議員	森田 修
千葉県	市原市議会議員	小沢 美佳
千葉県	鴨川市議会議員	久保 忠一
千葉県	千葉県議会議員	市原 淳
千葉県	香取市議会議員	藤木 裕士

千葉県	成田市議会議員	葛生 孝治
神奈川県	大井町議会議員	山崎 真弘
岐阜県	岐阜県議会議員	川上 哲也
愛知県	東海市議会議員	井上 正人
愛知県	一宮市議会議員	中村 一仁
大阪府	吹田市議会議員	池淵佐知子
大阪府	茨木市議会議員	河本 光宏
島根県	浜田市議会議員	川神 裕司
岡山県	総社市議会議員	村木 理英
山口県	周南市議会議員	小池 一正
福岡県	福岡県議会議員	江頭 祥一
長崎県	長崎県議会議員	宮本 法広
熊本県	玉名市議会議員	北本 将幸
鹿児島県	鹿児島県議会議員	寶來 良治
鹿児島県	薩摩川内市議会議員	阿久根憲造